

ひろさき

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 112

平成22年 10月15日号
(2010)

特集

地域包括支援センターを利用して

生き生きとした生活を P. 2

●市 政／弘前城菊と紅葉まつり、3R推進月間 ほか・・ P. 4

●話 題／弘前城築城400年祭 100日前イベント開催、
たか丸くんが行く!! P. 10

●お知らせ／催し、教室など P. 12

■第8回弘前・白神アップルマラソン

10月3日に開催された「第8回弘前・白神アップルマラソン」には、約4,600人のランナーが参加し、健脚を競いました。この日は途中で雨が降り出す肌寒い天候でしたが、ランナーたちは雨を物ともせず、秋の津軽路を駆け抜けました。



地域包括 支援センターを

利用して生き生きと した生活を

地域包括支援センターの役割は？

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で、安心して生活を続けられるように支援を行う総合相談窓口です。



地域包括支援センターの 設置場所・利用時間など

中学校区を基に市内を7地区に分け、各地区に1カ所ずつ、計7カ所あります(右下図参照)。

要支援1・2の認定を受けた人には、担当の地域包括支援センターの連絡先などを記載したお知らせを、認定結果通知書と一緒に送付していますので、気軽にご利用ください。

●利用時間

月～土曜日の午前9時～午後6時

●休業日

日曜日、祝日、12月29日～1月3日

●利用料 無 料

●問い合わせ先 担当地区の地域包括支援センターへ。

※担当の地域包括支援センターを確認したいときは、介護保険課介護事業係(市役所1階、窓口107、☎40・7049)にご連絡ください。

地域包括支援センターの職員は？

保健師(看護師)、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの保健や福祉の専門職です。
職員が互いに連携しながら、チームとして総合的に高齢者の皆さんの相談に応じます。



保健師
(看護師)



社会福祉士



主任ケア
マネジャー

弘前市第二 地域包括支援センター

【担当地区：第二中学区】

▽ところ 大川字中桜川
18の10(サンタハウス
弘前内)

▽電 話 ☎95・3702



弘前市東部 地域包括支援センター

【担当地区：東中、第五中学区】

▽ところ 福村字新館添
50の8(福寿園内)

▽電 話 ☎26・2433



弘前市西部 地域包括支援センター

【担当地区：津軽中、常盤野中、
東目屋中学区】

▽ところ 五代字田屋敷
240の1(ピノカーサ岩
木内)

▽電 話 ☎82・1516



弘前市南部 地域包括支援センター

【担当地区：第四中、石川中、相馬中、
南中(文京小・松原小学区を除く)】

▽ところ 小沢字山崎
44の9(希望ヶ丘ホーム
内)

▽電 話 ☎87・6779



弘前市北部 地域包括支援センター

【担当地区：裾野中、北辰中、
新和中、船沢中学区】

▽ところ 高杉字山下
298の1

▽電 話 ☎95・2100



弘前市第一 地域包括支援センター

【担当地区：第一中学区】

▽ところ 野田1丁目1
の27(コープ青森和徳
店隣)

▽電 話 ☎31・1203



弘前市第三 地域包括支援センター

【担当地区：第三中、南中(文
京小・松原小学区に限る)】

▽ところ 豊原1丁目1
の2(弘前静光園内)

▽電 話 ☎39・2515



地域包括支援センターでは
どんなことを行っているの？

相談や悩みにお応えします

気軽にご相談ください

介護保険や健康・福祉に関する相談、認知症の介護や予防に関する相談のほか、さまざまな相談を受けて、必要な情報を提供したり、制度を紹介したりします。

安心して暮らす

高齢者の権利を守ります

- 認知症の人などへの成年後見制度活用相談
- 高齢者虐待の防止・相談・対応
- 悪質な訪問販売や消費者被害の防止





介護保険あれこれ

10月支給の年金から差し引く 介護保険料額について

平成22年度分の介護保険料額は、4・6・8月支給の年金から差し引かれた仮徴収分と、10月から来年2月までの支給年金から差し引く本徴収分との合算額での納付となります。

10月に支給される年金からは、保険料額の100円未満の端数分が差し引かれるため、12・2月に差し引く保険料額とは異なっていますのでご注意ください。

65歳になった人は 介護保険料の納付を

介護保険制度は、40歳以上の加入者（被保険者）が保険料を負担し合い、介護が必要となったときに要介護認定を受けて、介護サービスを利用する制度です。

被保険者のうち、40歳から64歳までの人（第二号被保険者）は、加入している健康保険料に介護保険分が含まれていますが、65歳（第一号被保険者）

からは、健康保険料とは別に、介護保険料を納めることになります。

当市では、65歳以上となった人に、介護保険被保険者証と介護保険料納入通知書を送付しています。

納付方法は、6カ月から1年ぐらまでは納入通知書で納め、その後は年金からの差し引き（特別徴収）となります。ただし、年金額が年額18万円未満の人は、納入通知書での納付となります（口座振替も利用できます）。

失業などでも保険料を減免

介護保険制度では、震災・風水害・火災などの災害以外にも、65歳以上の介護保険被保険者がいる世帯で、主に生計を維持していた人が今年の1月以降に、会社の都合や倒産などにより失業したときや、事業または業務の休廃業により収入が著しく減少したときなどは、介護保険料の減免を受けられる場合があります。

減免を受けるためには申請が必要です。失業などを証明できる書類（雇用保険受給者証など）を持参の上、ご相談ください。

▽問い合わせ先 介護保険課介護保険料係（市役所1階、窓口107、☎40・7049）

平成22年 国勢調査

調査票の提出はお済みですか

10月1日現在で全国一斉に国勢調査を実施しています。まだ調査票を提出していない人は、至急調査票に記入の上、提出してください。

調査票を受け取っていない場合や、調査票の追加が必要な場合は、実施本部までご連絡ください。

調査票に記入された内容は統計以外には使用されず、統計法によって厳格な個人情報保護が定められ、秘密も守られますので、安心してご記入ください。

なお、調査票は機械で読み取りしますので、汚したり、折ったり、丸めたりしないようお願いいたします。

また、調査票に記入漏れなどがあつた場合には、確認のため市から連絡することがあります。

調査へのご理解とご協力をお願いいたします。

▽問い合わせ先 国勢調査弘前市実施本部（☎34・3566）



3R スリーアール

- リデュース (Reduce) 廃棄物の発生抑制
→ごみを減らそう。物を大切にしよう
- リユース (Reuse) 製品・部品の再利用
→繰り返し使おう
- リサイクル (Recycle) 再生資源の利用
→再び資源として利用しよう

循環型社会形成のためには、国民・事業者・行政が互いに協力し、上記3Rの取り組みを進めていくことが重要であるとして、リサイクルに関係する環境省を含む8省庁が一体となり、毎年10月を3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間と定め、広く国民に向けてその普及啓発活動を行っています。

もったいない・あおもり
3R推進弘前大会
楽しいイベント盛りだくさん。ぜひおいでください。
▽とき 11月6日（土）
午前9時半～午後5時
▽ところ 総合学習センター（末広4丁目）
■問い合わせ先 環境保全課
リサイクル推進係（☎35・1130）



3R

例えばこのような取り組みがあります。

リデュース (Reduce) 廃棄物の発生抑制

→ごみを減らそう。物を大切にしよう。

買い物袋（マイバック）を持参する



修理できる製品は修理して使う



食べ残しをしない



マイはしを持参する



リユース (Reuse) 製品・部品の再利用

繰り返し使おう。

フリーマーケットや、リサイクルショップを利用する



リサイクル (Recycle) 再生資源の利用

再び資源として利用しよう。



地域の再生資源回収運動に参加する

新聞紙・雑がみ類を回収ステーションに持ち込む



白色トレイ、牛乳パックなどを回収しているスーパー等に持ち込む

いただいたご意見・ご提案

現在、〇〇小学校の学区に在住しておりますが、これから入学する子どものことを考えれば、一人で通える距離でもありません。住んでいる地域から小学校はとても遠く、しかも共働きのため、職場と反対方向の小学校では送迎もままなりません。

市町村合併があった後のことで、同じ弘前市内になり、引っ越してきたのですが、近くに学校があるのに通えないのは不公平感があります。

学区、越境入学は自治体で決められるとの話を聞きました。ぜひ見直していただき、地域にこだわらず、通いやすさ、学校までの距離も希望、判断材料に組み込むなどの是正も必要ではないかと思えます。

今すぐ解決できなくとも、ある程度年数が経ってからも、このことは見直すべきではないでしょうか。学区の見直し、もしくは越境入学の緩和を検討いただきたいと思います。

わたしのアイデアポスト

市役所総合案内所

岩木総合支所総務課

相馬総合支所民生課

市民課駅前分室

市民課城東分室

東目屋出張所

船沢出張所

高杉出張所

裾野出張所

新和出張所

石川出張所

「わたしのアイデアポスト」は、市の広聴事業のひとつとして、市政に関するご提案やご意見を多くの皆さんからお伺いし、市政運営に生かすことを目的に実施しています。

現在、上記の11カ所にポストを設置していますので、備え付けてある用紙に提案などを記載して投書してください。また、インターネットやファクス、郵送でも受け付けています。

■わたしのアイデアポストについての問い合わせ先 広報広聴課広聴係（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所2階、窓口258、☎35・1194、ファクス35・0080）

市の回答

学区は、就学予定者の住所に基づいて就学すべき小学校や中学校を指定するために、あらかじめ教育委員会が設定している区域です。当市の学区は、地域性や通学上の安全確保、学校規模などを考慮しながら「弘前市立小・中学校の通学区域に関する規則」で規定しており、学区の設定に当たっては、道路や河川などの地理的条件のほか、町会などの住民組織や今後の児童生徒数の推移も念頭に置いて行っていますので、どの学区も面積がさまざま、一部の地区には隣接する学区の学校の方が近いという状況が生じてしまうこともあります。

以上のことから、通学に要する距離や時間に著しい差が認められる場合を除き、単に距離が近いだけでは学校を選ぶことはできませんが、例えば、両親が共働きで児童の帰宅時に留守家庭となるため、預け先の他学区への就学を希望するなど、特別な事情がある場合には、学区外就学許可基準に従って学区外就学を認める弾力的な扱いをしています。この制度の周知を図ることはもちろん、必要があれば地域住民の要望や意見を集約し、学区の見直しも視野に入れながら、適切な通学区域の設定に努めていきたいと思えます。

ひろさき公共交通マップを配布しています

市では、市民生活の足である公共交通の利用促進に取り組んでおり、この取り組みの一つとして、この度、路線バスや鉄道のルート、利用方法などをまとめた「ひろさき公共交通マップ」を作成しました。

マップは利用者の目線に立った使いやすいものを目指し、市民・利用者、運行事業者、市が協力して作製したもので、A2判を持ち歩きに便利ながきサイズに折り込んだものです。

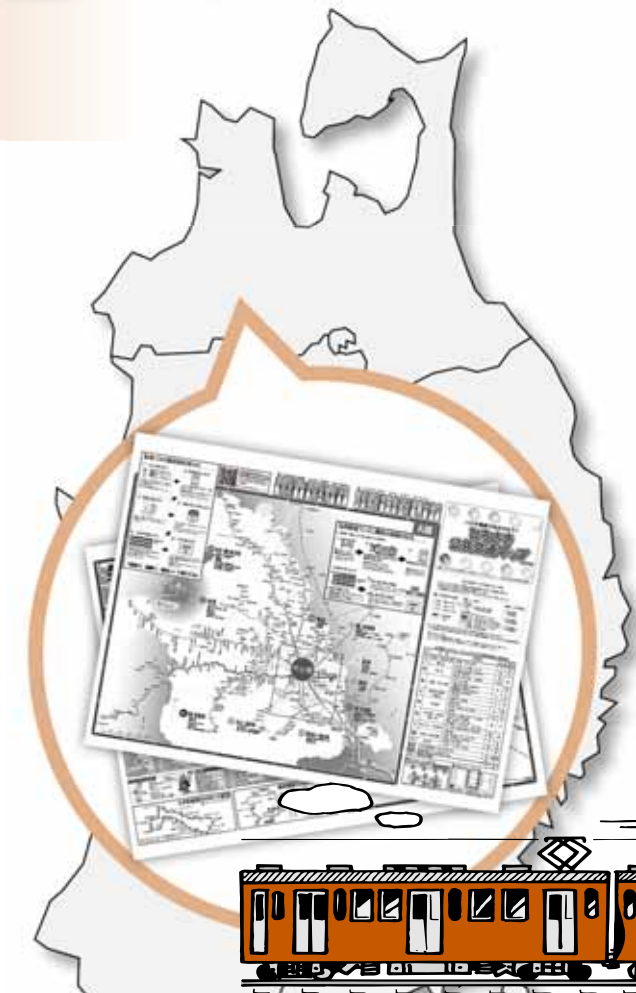
現在、市ではマップをより使いやすいものへと改良するため、市民や転入者へ試験的に配布し、実際に使用した人の意見・感想をお聞きするアンケートを実施しています。マップは無料で配布しています。

配布場所は、弘前バス（弘前バスターミナル・駅前案内所）、弘南鉄道（弘前駅・中央弘前駅・津軽大沢駅などの有人駅）、市役所（総合案内所、企画課ほか）など。※マップの内容は市のホームページにも掲載しています。

▽配布部数 2000部（無くなり次第配布終了）

▽その他 いただいた意見を踏まえた改正版を来春に本格配布する予定です。

▽問い合わせ先 企画課地域振興担当（市役所3階、☎40・7021、ファクス35・7956、Eメール kikaku@city.hirosaki.jp）



地震に強い安全なまちを目指して、次の条件を満たす木造住宅の所有者が希望する場合には、市が耐震診断員を派遣し、耐震診断を行います。募集期間を延長しますので、この機会にぜひ診断を。

▽対象住宅 市内にある、次の要件すべてに該当する住宅

○昭和56年5月31日以前に建築されたもの

○一戸建ての専用住宅または併用住宅（延べ面積の2分の1以上を住宅の用に供し、かつその他の用途に供する部分の床面積が50平方メートル以下であるものに限り）で地上階数が2以下のもの

○一般構造（在来軸組構造）または伝統的構法によって建築された木造住宅であること

○現在、居住している住宅であること

○原則として延べ床面積が200平方メートル以下であること

※200平方メートルを超える場合は、申込者負担の増額に対応します。

▽診断費用 申込者負担として、1戸当たり8000円

※診断費用は総額12万円ですが、残額は国・県・市で負担。

▽募集戸数 20戸（先着順）

▽申込締め切り 11月15日

▽申込書の配布 建築指導課（市役所3階、窓口353）で配布。市のホームページからもダウンロードできます。

▽問い合わせ 申込先 建築指導課（☎40・7053）

今ならわずかな負担で診断ができます!!

木造住宅耐震診断募集期間を延長



市長車座ミーティング

市政について、市長と直接お話ししてみませんか

▽と き 第4回＝11月18日（木）／第5回＝12月22日（水）／第6回＝平成23年1月20日（木）

※時間はいずれも午後2時～3時半。

▽対 象 市内に在住、在勤または在学するおおむね5人～15人で構成された団体

※営利目的での開催、宗教・思想・政治などを目的とした団体は除く。

▽申し込み方法 開催希望申込書に、テーマや開催場所など所定の事項を記入の上、10月29日までに広報広聴課（市役所2階、窓口258）へ持参するか、郵送またはファクスで申し込んでください。

※開催希望申込書は、広報広聴課に備え付けてあるほか、市のホームページからもダウンロードできます。

▽その他

①申し込み団体が複数の場合は、審査および抽選により開催団体を決定します。

②会場の準備および費用は開催団体が負担してください。

③開催結果は、写真を添えて市のホームページで概要をお知らせします。

▽問い合わせ先 広報広聴課（〒036・8551、上白銀町1の1、☎35・1194、ファクス35・0080）

8月22日 ファッション甲子園2010



8月22日、第10回ファッション甲子園2010 最終審査会が行われました。会場となった市民会館（下白銀町）には、最終審査に選ばれた40チームが集結し、ファッションショー形式で、感性あふれる作品を披露していました。たか丸くんは、特設会場の「400年祭PRコーナー」で、訪れた人たちを温かく出迎えました。また、会場の外ではTシャツやエコバッグの販売、コンピュータデザインシステムの展示会などが行われていました。

8月26日 南中祭「ビッグアート」取材

8月26日、学校祭を目前に控えた弘前南中学校（原ヶ平字山中）を訪問しました。校舎には、弘前城とたか丸くんが描かれた「ビッグアート」が掲げられていました。この「ビッグアート」は、各クラスで色を塗った布を縫い合わせ、生徒全員で作製したものです。たか丸くんにあやかり、学校祭の機運が高まるようにという願いが込められているとのことでした。たか丸くんは、自分をモデルにした「ビッグアート」を見て少し照れた様子でした。



8月22日 駅前サマーフェスタ



8月22日、駅前大通りで開催された駅前サマーフェスタに出掛けてきたたか丸くん。沿道には露店が並び、特設ステージでは、高校生によるチアリーディングや輪車チームによる演技が披露されました。そのほか、フリーマーケットやストリートダンスショーが行われ、大勢の人たちで賑わいました。また、上土手町キャラクターのドッピー君も訪れ、たか丸くんと初めてのコラボレーションを果たしました。たか丸くんは、大きなドッピー君を見て、驚いた表情を見せていました。

8月28・29日 青森県PR in 大阪国際空港



8月28日と29日の2日間、大阪国際空港において、「ひとつ飛びあおもり！青森観光キャンペーン in 大阪国際空港」のイベントが行われました。関西の人たちに青森のことをもっと知ってもらうため、りんごジュースの無料配布や青森県観光PRクイズ、津軽三味線の演奏などを行い、イベントを盛り上げました。中でもたか丸くん、決め手くん、ミスりんご青森、弘前城ミス桜による、ゆるキャラPRショーが人気を博していました。

弘前城築城400年祭 100日前イベントを盛大に開催!!

弘前城築城400年祭がスタートする平成23年1月1日まであと100日となった9月23日、追手門広場（下白銀町）を会場に、100日前イベントが開催されました。開会に先立ち葛西市長が、「今回は弘前の魅力をたくさんの方々に知っていただくいい機会です。来たるは盛りだくさんのイベントがありますので、弘前年の新しい400年をみんなで盛り上げていきましょう」とあいさつ。築城400年祭にちなんで、400個の風船を空に放ちました。

イベントでは、市内の保育園児による演奏をはじめ、たか丸くんと〇×クイズ、ミニ新幹線乗車コーナー、応援に駆け付けた県内のゆるキャラたちとのPK対決が行われました。またフードコーナーも用意され、津軽に昔から根付いているソウルフードの数々に、訪れた人たちも舌鼓を打っていました。ほかにも、10月1日に操業50周年を迎えた二ッカウスキー弘前工場によるパネル展示、弘前ブラザーによる刺しゅうコーナーが設けられ、訪れた市民を楽しませていました。



400年祭を構成する主な事業

市では、今後の主な事業として次のような事業を予定しています（内容は変更する場合があります）。詳細は決まり次第、随時お知らせします。

○プレイベント期間（平成22年4月～12月）：津軽の食と産業まつり（10月15日～17日）、津軽に眠る名宝展（11月27日～平成23年1月30日）、ひと足お先の映画祭（12月3日～5日）、The 津軽三味線2010（12月11日）、狂言弘前特別公演（12月12日）

○400年祭期間（平成23年1月～12月）：オープニングセレモニー（平成22年12月31日深夜～23年1月1日）、弘前城雪燈籠まつり・津軽錦絵大回廊（2月10日～13日）、弘前さくらまつり（4月23日～5月5日）、記念式典（5月下旬）、近衛家陽明文庫名宝展（5月下旬～7月上旬）、弘前城新能（6月下旬）、弘前ねぶたまつり（8月1日～7日）、弘前城菊と紅葉まつり（10月下旬～11月上旬）、エンディングセレモニー（12月31日）

■問い合わせ先 弘前城築城400年祭推進室（市役所5階 40・7017）

柴田学園 5校合同学園祭

【東北女子大学学園祭「神無月祭」】

新校舎となって初めての学園祭です。

▽とき 10月23日・24日
午前10時～午後4時

▽ところ 東北女子大学（清原1丁目）
▽テーマ 翔（かける）～歩んだ軌跡 飛び立とう今～

▽内 容 ①各科の展示…家政学科＝「笑（ほほえみ）～あなたに心の花束を～」をテーマに目落ち刺し・裂織・絞り染めのタペストリーやCADを活用したゲストドレスの展示、野菜についてのコーナーやステンシルの実演コーナーなど／児童学科＝「不思議の国のアリス」をテーマに廃品を活用して物語の世界を表現、こぎん刺し、ストーン・アートの制作物の展示など ②ステージ発表、模擬店、食堂 ③特別企画「弘大フィルと東北女子大学吹奏楽団による～壮大な音楽の夕べ～」（24日の午後6時半～7時半、体育館）…独唱・山崎祥子さん「オンブラ・マイフ」ほか、ピアノ独奏・一戸智之さん「ラプソディー・インブルー」、指揮・安達弘潮さん「セビリアの理髪師序曲」チャイコフスキー交響曲第5番より
【東北女子短期大学・東北栄養専門学校・東北コンピュータ専門学校・東北経理専門学校学園祭】

▽とき 10月23日・24日
午前9時～午後4時

▽ところ 上瓦ヶ町キャンパス

▽テーマ Heart to heart ～輝け絆 仲間と共に～

▽内 容
○短期大学 ①被服科、生活科、保育科の展示 ②文化部による展示、ステージ発表（23日の午後1時半～2時半） ③食堂、喫茶、販売

○各専門学校 ①各専門学校展示 ②食堂、喫茶、露店 ③特別企画「響けこの地に届け心に、津軽三味線の熱き魂」（24日の午後1時半～2時半、体育館）…奏者・多田あつし会

■問い合わせ先 東北女子大学学生課（☎33・2289）

※5校合同で、学園祭の期間中に進学相談会も行います。

りんごの収穫祭

今年もりんご公園（清水富田字寺沢）を会場に、「りんごと米の収穫祭」を開催します。
当日は、りんごや米などの農産物、農産物加工品を販売する予定です。また、楽しいイベントも用意していますので、家族みんなでおいでください。

▽とき 11月7日（日）
▽開 場 午前10時
▽入場料 無料
▽問い合わせ先 農政課農産係（☎82・1635）

都市景観フォーラム

今年の都市景観フォーラムは、「弘前の景観ルールを考える」がテーマです。
豊かな自然と歴史・文化が織り成す弘前の景観を、守り・育て・創り・活かしていくために、どのようなルールが必要なのかを一緒に考えてみましょう。

ディスカッション「どうする？弘前の景観ルール」…パネリスト・小浦久子さん（基調講演講師）、北原啓司さん（弘前大学教育学部教授・副学部長）、石場清勝さん（重要文化財石場家当主）、堀江敏志さん（堀江組代表取締役社長）、石澤暁夫さん（青森県景観形成審議会委員）、石澤敏行さん（弘前青年会議所顧問）、宮川克己さん（TEKUTEKU編集代表）

▽とき 11月7日（日）
午前10時～正午
▽ところ 弘前歯科医師会館（城東4丁目）
▽内 容 講演「一生おいしく、楽しく、安全な食生活を送るための『口腔（こうくう）の養生法』」健康長寿のための「口腔機能向上支援とは」…講師・植田耕一郎さん（日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授）

▽定 員 120人（先着順）
▽入場料 無料
▽問い合わせ先 弘前歯科医師会（☎27・8778）

虐待予防に関する講演会

▽とき 11月7日（日）
午後2時～3時半
▽ところ 弘前大学医学部コミュニケーションセンター（本町）
▽内 容 講演「妊娠中からと保育園での虐待予防」…講師・澤田敬さん（高知県立中央児童相談所小児科医）

▽対象 市民
▽受講料 無料
▽問い合わせ先 弘前大学医学部小児科教室（☎39・5070）

※駐車スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

●弘前市役所
☎35・1111
●岩木庁舎
☎82・3111
●相馬庁舎
☎84・2111

催し

弘工高創立100周年 記念事業共催作品展

県立弘前工業高等学校は、明治43年に本県初の工業高校として設置され、今年で100周年を迎えることから、記念事業の一つとして作品展を開催します。
ものづくりの精神と創作の意欲を持ち続け活動している卒業生たちの作品を一堂に会した総合作品展です。ぜひご来場ください。

▽とき 10月21日～24日、午前10時～午後5時
▽ところ 百石町展示館
▽入場料 無料
▽問い合わせ先 実行委員会事務局（二唐刃物鍛造所内、吉澤さん、☎88・2881）

弘前おもちゃフォーラム2010

青森県産材を使用した木のぬくもりあふれる木製玩具に触れたり、おもちゃを通じた子育て支援や遊びなどについて学んだりしてみませんか。

▽とき 11月3日（水・祝）
午前10時～午後3時
▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）
▽内 容 舞台発表、体験コーナー、作品展示会、大抽選会など
▽問い合わせ先 中央公民館（☎33・6561）
※火曜日は休館日です。

第49回 弘前市子どもの祭典

みんな
集まれ！

今年のテーマは、「はじけろ！みんなのえがお！」。

弘前市子ども会OB会、ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団、青少年育成委員会などによる体験コーナーや子どもたちの舞台発表など、楽しい催しをたくさん用意しています。さらに、豪華景品が当たる大抽選会もありますので、皆さんお楽しみに！

▽とき 11月3日（水・祝）
午前10時～午後3時
▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）
▽内 容 舞台発表、体験コーナー、作品展示会、大抽選会など
▽問い合わせ先 中央公民館（☎33・6561）
※火曜日は休館日です。

▽定 員 60人（先着順）
▽受講料 無料
※事前の申し込みが必要。
▽問い合わせ・申込先 弘前こどもコミュニケーション・ピーぷる（☎兼ファクス34・0171、Eメール peple-office@major.ocn.ne.jp）

おたつしや健幸塾

いつまでも元気で生き生きとした生活を送れるよう、高齢者に適した運動をします。
▽11月の日程および開催場所
○5日：中野集会所（中野2丁目）
○12日：堅田集会所（和徳町）

▽対 象 65歳以上の市民
▽参加料 無料
▽持ち物 運動できる服装、汗ふきタオル、水分補給のための飲み物
▽問い合わせ・申込先 健康推進課健康支援第一係（野田2丁目、弘前市保健センター内、☎37・3750）

外国人のための ひろさき楽習

「Japanese Calligraphy(日本の書法)」

弘前に住む外国人の皆さんに、日本の文化を知ってもらうための講座です。

▽と き 11月19日(金)

午後6時半～8時半

▽ところ 弘前文化センター(下白銀町)2階和室

▽内 容 講師の書のお話とデモンストレーション、参加者の書道体験(英語の解説付き)

▽対 象 市内に住む外国人＝20人／国際交流に興味のある市民＝10人(外国人参加者のサポートをお願いします)

▽参加料 無 料

▽問い合わせ・申込先 中央公民館(☎33・6561、Eメール chuoukou@city.hirosaki.lg.jp)

※氏名、電話番号、国籍、理解できる言語をお知らせください。

《Special lectures for foreign residents of Hirosaki》
【Japanese Calligraphy】
The Hirosaki Chuo Kominkan is offering support to foreign residents in order to help them deepen their understanding of Japan.

Date: November 19(Friday) 6:30-8:30p.m.

Where: Hirosaki Chuo Kominkan(Inside the Hirosaki Bunka Center, Shimosirogane-cho, Hirosaki), Japanese-style Room(2nd Floor)

Lecture content: 1) Demonstration of Japanese Calligraphy

content: 2) Experience of Japanese Calligraphy(We have an English interpreter)

Capacity: 20(foreign residents), 10(Japanese) The Japanese will help the foreign residents.

Fee: Free

How to apply: By telephone or E-mail.

Please state your name, phone number, nationality, languages you can understand.

Hirosaki Chuo Kominkan

Tel (33)6561 E-mail chuoukou@city.hirosaki.lg.jp

非正規労働を考える シンポジウム

▽と き 11月24日(水)

午後1時半～4時

▽ところ ホテルニューキャッスル(上鞆師町)2階曙

▽内 容 講演「青森県の課題とその解決に向けて」：講師・李永俊さん(弘前大学人文学部附属雇用政策研究センター長)／パネルディスカッション

▽定 員 100人

▽受講料 無 料

▽問い合わせ先 青森県商工労働部労政・能力開発課(☎青森017・734・9397)

表千家流チャリティー茶会

自然と一体になり、心を潜めて季節の中に身を置くことが、お茶の楽しみの大部分です。秋のひとつとき、お茶とお菓子でゆっくりお楽しみください。

▽と き 11月7日(日)

午前10時～午後4時

▽ところ まちなか情報センター(土手町)

▽茶 券 300円

※売り上げはすべて、市社会福祉協議会へ寄附します。

▽問い合わせ先 表千家流弘前地区教授者会(加藤さん、☎35・1562)

教室・講座

放射線医療についての 市民公開講座

「最新の放射線医療」をテーマに、放射線検査や放射線治療について分かりやすくお話しします。

▽と き 10月22日(金)

午後5時半～7時半

▽ところ 中三弘前店(土手町)8階多目的ホール「スぺ

ース・アストロ」

▽内 容 「放射線検査のいろは」体のなかで切らずに見えるのはなぜ?」：講師・齋藤陽子さん(弘前大学大学院保健学研究科教授)／「最新の放射線療法」切らずに治せるがん治療」：講師・高井良尋さん(弘前大学大学院医学研究科教授)

▽対 象 中学生以上の市民

▽受講料 無 料

▽問い合わせ先 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ(☎39・5905)

音楽療法セミナー

音や音楽の持つ「力」を通じて、調和のある豊かな生活を送ってみませんか。

▽と き 10月24日(日)

午後1時半～3時半

※受け付けは午後1時～

▽ところ 総合学習センター(未広4丁目)

▽内 容 音楽療法士おすすめ「認知症予防わいわい音楽プログラム」：講師・逢坂紗織さん(青森音楽療法研究会認知症予防プロジェクトリーダー)

▽対 象 市民150人(先着順)

▽参加料 200円(資料代

定講座です。

くらしの消費者講座

市では、平成21年8月に弘前市環境基本計画を策定し、『協働』で育むあずまいまち「ひろさき」を目標として、市民の皆さんに日常生活の中で環境への負荷の低減に努めるようお願いしています。

この度、日常生活で省エネを進めるための知識を得て、役立ててもらうため、家電製品の省エネについての講座を開催します。ぜひ参加してみませんか。

▽と き 10月27日(水)

午後2時～4時

▽ところ 弘前文化センター(下白銀町)1階会議室

▽テーマ 「知って納得!家電製品省エネのすすめ」

▽講師 パナソニック電工社員

▽対 象 市民または市内に通勤・通学する人

▽定 員 40人(先着順)

▽参加料 無 料

※事前の申し込みが必要。

▽問い合わせ・申込先 市民生活センター(土手町、☎34・3179)

【お詫びとお知らせ】

8月27日に開催した、テ

秋の読書週間行事

「気がつけば、もう降りる駅。」
(2010・第64回読書週間標語)



「読書週間」は、読書の楽しさを訴えることすべての世代の人たちに本に親しむきっかけをつくってもらおうという考えに基づいた運動です。

弘前図書館では、秋の読書週間に合わせて、さまざまな催しを行います。

▽と き 10月27日～11月9日

▽ところ 弘前図書館(下白銀町)

▽内 容

○ロビー展…開業間近の新幹線を集めた本の紹介
○一般閲覧室…就職支援関連図書の特設コーナーを設置

○おはなしコーナー…乳幼児向け図書の展示

○おたのしみおはなし会…10月30日、11月6日の午後2時～2時半

▽問い合わせ先 弘前図書館(☎32・3794)

弘前大学農学生命科学部 公開講座

「農村地域の魅力を探る」をテーマに開催します。

▽と き 10月24日(日)、

として。当日徴収します)

▽申し込み方法 氏名・職業・電話番号・送信日を記入し、

ファクスで、青森音楽療法研

究会西北五支部(岩谷さん、

ファクス0173・34・48

22)へ。

▽問い合わせ先 青森音楽療

法研究会事務局(☎携帯090・

6258・7881)

弘前大学農学生命科学部 公開講座

「農村地域の魅力を探る」をテーマに開催します。

▽と き 10月24日(日)、

午後1時半～3時半

▽ところ 弘前大学農学生命科学部(文京町)3階302

講義室

▽内 容 「白神山地の自然の魅力の話」：講師・檜垣大

助さん(農学生命科学部教授)

／「農村を楽しむグリーン・ツーリズムの話」：講師・藤

崎浩幸さん(同准教授)

▽対 象 市民

▽受講料 無 料

▽問い合わせ先 農学生命科

学部地域連携推進室総務グル

ープ研究協力担当(☎39・3

756)

※青森県民カレッジの単位認

職業訓練の受講者募集

雇用保険を受給できない離職者を対象に、再就職のための職業訓練を実施します。

なお、一定の要件を満たした受講者には、訓練期間中の生活保障として、訓練・生活

支援給付金が支給されます。

▽と き 12月16日～平成23

年3月15日、午前9時～午後

4時

▽ところ J M T C 弘前教室

(外崎4丁目)

▽内 容 ①アプリケーションソフトの基礎から事務処理

への応用 ②簿記を活用した

経理事務処理の学習 ③社会

人基礎能力やビジネスマナ

ー、コミュニケーションスキ

ルの習得

▽定 員 20人

※申し込み多数の場合は選考

となります。

▽受講料 無 料

※別途テキスト代1万290

5円が必要。

▽申し込み方法 11月10日ま

で、弘前公共職業安定所(南

富田町)へ。

▽問い合わせ先 弘前公共職

業安定所(☎38・8609)／J M T C 弘前教室(☎29・

平成 23 年度

会場の使用受け付け

弘前文化センター



一つの催しを1件とし、電話での申し込みは受け付けません。なお、公共団体などの行事が予定されている日は使用できません。

【仮申込書の受け付け】

▽期 間 11月4日～19日

ホール、大会議室、美術展示室に限り、仮申し込みを受け付けます（催しの名称・内容などを明確にしておいてください）。

※希望が重複した場合は、12月13日の午前10時から弘前文化センター（下白銀町）で抽選を行います。

【一般受け付け】

12月13日の午後1時から先着順で受け付けます（仮申し込み対象外の会場を含む）。なお、12月15日からは、電話での申し込みも受け付けます。

▽問い合わせ先 弘前文化センター（☎33・6571、火曜日は休館）

百石町展示館



一つの催しを1件とし、電話での申し込みは受け付けません。なお、公共団体などの行事が予定されている日は使用できません。

【仮申込書の受け付け】

▽期 間 11月1日～15日の午前10時～午後7時
※希望が重複した場合は、11月25日の午前10時から百石町展示館で抽選を行います。

【一般受け付け】

11月25日の午後3時から先着順で受け付けます。なお、11月29日からは、電話での申し込みも受け付けます。

▽問い合わせ先 百石町展示館（☎31・7600）

市民会館



使用申し込みを、「仮申込書」により受け付けます。電話での申し込みは受け付けません。

【仮申込書の受け付け】

使用月日、催しの名称などを記入してください。

▽期 間 11月5日～20日

※希望が重複した場合は、12月14日の午前10時から市民会館（下白銀町）大会議室で抽選を行います。

【一般受け付け】

仮申し込みをしなかった人を対象に、12月15日の午前9時から、来館または電話により、先着順で受け付けます。

▽問い合わせ先 市民会館（☎32・3374、月曜日は休館）

少年少女ソフトボール教室

▽と き 11月6日・7日・10日・12日・14日・15日の午後7時～9時
▽ところ 克雪トレーニングセンター（豊田2丁目）
▽内 容 基本動作の習得と応用したゲームまで
▽対 象 市内の小学生
▽参加料 無料（各自傷害保険などに加入を）
▽持ち物 運動のできる服装、グローブなど
▽申し込み 当日直接会場へ
▽問い合わせ先 弘前市ソフトボール協会（菊池さん、☎88・2327）

現代セミナーひろさき

テーマは「今だから触れたい宮沢賢治の世界」です。宮沢賢治が大正14年（1925）に初めて弘前を訪れて85年。意外と知られていない賢治と青森県との関わりや、先入観にとられない賢治作品への親しみ方を学んでみませんか。ミニコンサートも行います。

▽日程と内容 ①11月14日「『フネでたどる賢治の星』北の銀河に琴のしらべ」：講師・藤田栄一さん（弘前・宮沢賢治研究会会長）、成田真希子さん（琴奏者）／②11月18日「『宮沢賢治と山田野・弘前』映像とお話でたどるゆかりの地」：講師・宮城淑子さん・土岐泰さん・福士美智子さん（同研究会会員）／③11月20日「『教師宮沢賢治と北方への旅』豊かな教育実践と賢治が旅に求めたもの」：講師・佐藤豊彦さん（同研究会会員）／④11月28日「講演とミニコンサート」第一部・講演「生と死の悲歌へ青森挽歌」～巨（おほ）きな水素のりんごのなかを～」：講師・藤田晴央さん（弘前詩塾主宰） 第二部・ミニコンサート「賢治が愛した名曲」：村田恵理

さん（ピアノ）、山形聡さん（チェロ）、福土正一さん（舞踏）※ミニコンサート終了後に演奏・朗読・舞踏のコラボレーションを予定。

▽開催時間 ①②④が午後6時半～8時、③が午後2時～3時半

▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）、①が3階プラネタリウム、②③が3階視聴覚室、④が2階大会議室

▽定 員 ①＝80人／②③＝各70人／④＝100人

※いずれも先着順。

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 中央公民館（☎33・6561、ファクス33・4490、火曜日は休館日）へ。

※あおり県民カレッジの単位認定講座です。

ひろさきコミュニティビジネスフォーラム

地域の課題を住民が主体的に解決するための事業活動として、コミュニティビジネスが注目されています。

コミュニティビジネスに興味のある人や、なにか地域のために事業を起こしたいと考えている人のご参加をお待ちしています。

その他

▽と き 11月4日（木）午後6時～8時半

▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）2階大会議室

▽内 容 ①基調講演：川野真理子さん（キープラネット代表理事） ②パネルディスカッション

▽参加料 無料

▽問い合わせ・申込先 11月1日までに、NPO推進青森会議（☎青森017・774・5598、ファクス017・774・5596、Eメールch-support@npo-aomori.jp）か、市商工労政課仕事おこし・雇用支援室（☎32・8106、ファクス35・1105）へ。

相馬庁舎車両等出入りの使用制限について

（仮称）相馬地区住民ふれあいセンター建設に伴う温泉掘削工事のため、相馬庁舎の車両等出入り口が庁舎南側（旧議会議事堂側）のみとなり、庁舎前駐車スペースも狭くなります。

来庁の際はご不便をおかけしますが、近くの駐車スペース

「しらかみさん家でエコチャレ日記参加者募集

ス（相馬庁舎裏、相馬保養センター「力荘」前、中央公民館相馬館前）を利用するなど、ご協力をお願いします。

▽工事期間 平成23年3月8日まで

▽問い合わせ先 相馬総合支所総務課（☎84・2111）

地球温暖化の原因となるCO₂排出量のうち、家庭からの排出削減のため、水道や電気の使用量を日記に記入しながらエコに取り組んでみませんか。

▽内 容 11月1日～30日の1カ月間、エコチャレ日記を記入し、来年1月開催予定のコンテストで結果発表と表彰式を行います（日記記入終了者全員に記念品を贈呈）。

▽募集人員 小学校4年生～中学校3年生の児童および生徒1100人

▽参加料 無料

▽応募方法 ECOリパブリック白神事務局ホームページ（http://shirakanifund.jp/）から応募用紙をダウンロードし、同事務局に提出してください。なお、応募用紙は、同事務局のほか市内各所でも配

布しています。配布先は同事務局にお問い合わせください。

▽問い合わせ先 ECOリパブリック白神事務局（福村1丁目、☎29・4093、ファクス29・4092）

※当事業は青森県重点雇用創出プランによる委託事業です。

下水道の処理区域が広がります

11月1日から、公共下水道事業および農業集落排水事業の処理区域（松木平、十腰内の各一部）が広がります。

新たな処理区域内の皆さんには、下水道の接続などについてのお知らせを送付しますので、早めの水洗化にご協力ください。

水洗化工事に必要な資金の融資あつせん制度や、自己資産で水洗化工事をした人への報奨金制度がありますので、気軽に問い合わせを。

▽問い合わせ先 上下水道部 営業課給排水係（茂森町、☎32・0698）

古雑誌の無料提供

不要になった雑誌を無料で差し上げます。来館の際は、

持ち帰り用の袋などを持参してください。

▽と き 10月30日（土）午前9時半～正午

▽ところ 弘前図書館（下白銀町）2階視聴覚室

▽冊 数 1人5冊まで（先着順）

▽雑誌名 おしゃれ工房、オレンジページ、サライ、山と溪谷、幼稚園など1200冊

※数に限りがあります。

▽問い合わせ先 弘前図書館（☎32・3794）

成人祭運営スタッフ募集

市生涯学習課およびZER

OPLUS（成人祭実行委員会）では、平成23年1月9日に開催される成人祭の運営スタッフを募集しています。一緒に新成人を祝福しませんか。

▽内 容 成人祭の準備および当日の運営（メモリアルカレンダー作成、もちつき、抽選会、軽食コーナーなど）

▽対 象 市内居住者110人程度

▽募集期間 11月30日まで

▽問い合わせ・申込先 ZERO PLUS事務局（弘前文化センター1階、弘前市社会教育協議会内、☎31・3010）

市のテレビ番組 スポット弘前くらしと話題

プラネタリウムへ行こう！

津軽地域では唯一の施設であるプラネタリウムと、宇宙の魅力について紹介します。

○放送日 10月23日(土)
午前10時15分～10時半
○放送局 青森テレビ(ＡＴＶ)

まもなく弘前城築城400年祭！

弘前城築城400年祭を目前に行われた100日前イベントの様子を紹介します。

○放送日 10月27日(水)
午後3時54分～4時9分
○放送局 青森朝日放送(ＡＢＡ)

高齢者を交通事故から守れ！ ～死亡事故抑止の取り組み～

高齢者を交通事故から守る取り組みとして行われた夜間の交通安全体験教室の様子を紹介します。

○放送日 10月31日(日)
午前7時半～7時45分
○放送局 青森放送(ＲＡＢ)

市と請負などの契約をしている事業者 および市の公の施設の指定管理者へ

市では、不正行為の未然防止と早期発見を図ることにより、適正・公正な市政の運営を進めるため、「職員等からの内部通報制度」を設けました。

この制度により、職員等は、市の職務の執行に関する事実で、違法または不適正なものについて、通報窓口(人事課長など)に通報することができ、通

報者は不利益な扱いを受けないよう保護されます。
なお、職員等の範囲には、市と請負契約をしている事業者や市の公の施設の指定管理者の役員および業務に従事している労働者も含まれます。

制度の概要や事務取扱要領については、市ホームページに掲載しています。

▽掲載場所 ①行政情報→入札・契約→その他のお知らせ ②行政情報→計画・取り組み→指定管理者制度

▽問い合わせ先 人事課研修厚生係(☎35・1136)

清掃活動の参加者を募集します

『もうすぐ東北新幹線全線開業！「ポイ捨てゼロキャンペーン」』

12月4日に、東北新幹線が新青森駅まで延伸し、全線開業されます。これにより、弘前市にもたくさんのお客さんが訪れることが予想され、市民一人一人が「お客様をまごころでお迎えするおもてなし」の心を持つことが求められます。

このため、市・県・日本たばこ産業などの連携により、現在展開中の『もうすぐ東北新幹線全線開業！「ポイ捨てゼロキャンペーン」』における取り組みの一環として清掃活動を実施しますので、奮ってご参加ください。

▽とき 11月3日(水・祝)、午前11時～正午(受付時間は午前10時10分～10時40分。出発は午前10時40分) ※雨天決行。

▽集合 弘前駅前広場(アプリーズ前)

▽その他 事前の申し込みは不要です。また、清掃道具(ごみ袋、トンガ、軍手)は当日受け付けで配布しますので、

手ぶらでおいでください。
▽問い合わせ先 環境保全課リサイクル推進係(☎35・1330)

温水プール石川の臨時休業

温水プール石川(小金崎字村元)では、プール水の交換清掃および機械設備の保守点検のため、次の期間休業しますのでご注意ください。

▽期間 11月1日～26日
▽問い合わせ先 温水プール石川(☎49・7081)

健康相談

「生活習慣病の予防」「禁煙したい」「健診結果を詳しく知りたい」「健診受診後の生活について」など、健康や栄養に関して保健師や栄養士が無料で相談に応じています。相談は予約が必要です。希望する人は事前に電話で申し込んでください。

▽11月の相談日 2日・16日の午前9時～午後2時
▽ところ 弘前市保健センター(野田2丁目)
▽予約受付時間 午前8時半～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)

▽問い合わせ・予約先 健康推進課(弘前市保健センター内、☎37・3750)

夜間・休日納税相談のご利用を

収納課では、日中や平日に納税相談ができない人のために、夜間・休日納税相談日を設けています。

納期限までに納付できない事情がある人は、未納のままにせず、ぜひ相談においでください。また、この日は電話での相談や、市税などの納付もできます。

▽夜間納税相談 10月19日～22日の午後5時15分～7時半
▽休日納税相談 10月24日の午前9時～午後4時
※毎月第4日曜日は休日納税相談日です。

勤労青少年ホーム「ソフトバレーサークル」会員募集

勤労青少年ホーム(五十石町)は、おおむね35歳までの市内に勤務が居住する働く皆さんに、教室やサークル活動を通じて交流と親睦(しんぼ

農業集落排水事業 分担金の納付

11月1日付けで、本年度の農業集落排水事業分担金の納入通知書を発送しますので、納期限(11月30日)までの納付をお願いします。

なお、本年度から会計課(市役所1階)では納付できまsenseんの、市役所で納付する場合は、会計課隣の青森銀行弘前市役所出張所をご利用ください。

そのほかの納付場所は、農協を含む市内金融機関(ゆうちょ銀行を除く)、岩木・相馬総合支所、各出張所、上下水道部です。

また、口座振替については、

従来どおり「ゆうちょ銀行」も利用できます。各金融機関や上下水道部の窓口は「口座振替依頼及び自動払込利用申込書」を準備していますので、口座振替を希望する人は、預貯金通帳と通帳の届出印を持参の上、申し込んでください。

そのほか不明な点がある場合は、問い合わせを。

▽問い合わせ先 上下水道部営業課収納係(茂森町、☎36・8103)

ガスを安全に

ガスを安全に使用するため、取り扱いの際は次のことに気を付けましょう。

○点火・消火は目で確認する
○ゴムホースは必ず赤い線まで差し込み、ホースバンドでしっかり止める
○未使用のガス栓にはゴムキヤップを取り付ける

○給排気の点検を行い、ガス器具の使用時は換気に十分気を付ける
○ガス漏れ警報器などの安全対策の装置を取り付ける

○器具の故障の場合は専門家に依頼する
○不完全燃焼防止装置付・立ち消え安全装置付の器具を使用する

▽問い合わせ先 ガスに関すること：ガス供給事業所／火災予防に関すること：最寄りの消防署・分署

宝くじの益金

財団法人自治総合センターでは、宝くじの普及広報事業の一環として、市町村や町会などのコミュニティ組織が主体となって実施する地域活動に対し、各種助成金を交付しています。

平成22年度は次の事業が採択され実施されました。

【コミュニティセンター助成事業】

助成を受け、地域住民のコミュニティ活動の拠点となる集会施設として、「前坂町会集会所」を前坂町会に設置しました。

▽問い合わせ先 市民生活課市民生活係(☎35・1664)



▶前坂町会集会所



有料広告

有料広告

有料広告

有料広告

く)を深めてもらうための場を無料で提供する施設です。現在、軟らかいボールを使ってバレーボールをする「ソフトバレー」を一緒に楽しむ仲間を募集しています。日ごろの運動不足やストレス解消に汗を流しませんか。初心者も大歓迎です。

▽問い合わせ先 勤労青少年ホーム(☎34・4361)

弘前城築城400年祭記念事業

「ひろさき

お寺の日」

ひろさき環境パートナーシップ21の主催で、弘前の歴史上大切な寺院であり、江戸時代の本堂と優れた仏像や絵画を伝える報恩寺と、巨大な観音像をまつる袋宮寺を公開します。普段は公開されていないため見るのができない貴重なお寺の文化財を拝観し、歴史・文化都市弘前が持っている価値について学びます。

- ▽とき 11月3日(水・祝) 午前10時～午後4時
- ▽ところ 報恩寺、袋宮寺(いずれも新寺町)
- ▽内容 寺院が所蔵する絵巻や彫刻(公開可能な仏像や肖像など)を寺院内で一般公開します
- ※両寺院住職による解説も予定しています。
- ▽参加料 300円(資料代)

として。ただし、小学生以下は無料) ※事前の申し込みは不要です。当日直接会場へおいでください。寺院の歴史や文化財の概要を解説した資料をお渡しします。

▽その他 寺院とその周辺に駐車場はありません。バス(金属団地・桜ヶ丘線弘高前下車)やタクシーをご利用ください。また、寺院内は車いすでの見学はできません。

▽問い合わせ先 中央公民館(☎33・6561、ファクス33・4490、Eメール chuoukou@city.hirosaki.jp)

※火曜日は休館日。報恩寺、袋宮寺への問い合わせはご遠慮ください。

「十一面観音立像」報恩寺

弥生いこいの広場で
ハロウィンを楽しもう!



職員が魔女やお化けカボチャ、ドラキュラに仮装するほか、馬車なども仮装してイベントを盛り上げます。

魔女に会ったら合言葉を言って、お菓子をもらおう! 仮装してきた人には記念写真をプレゼントします。

▽とき 10月23日・24日・30日・31日、午前9時～午後4時半

※雨天決行。

▽ところ 弥生いこいの広場(百沢字東岩木山)

▽参加料 カボチャのランタン作りは無料(数量限定)

※有料イベントもあり。

▽問い合わせ先 弥生いこいの広場(☎96・2117)

有料広告

有料広告

Population

人の動き

・人口 (前月比)
182,215人(-40)
男 82,970人(-24)
女 99,245人(-16)
・世帯数
71,302世帯(+24)
平成22年9月1日現在(推計)

